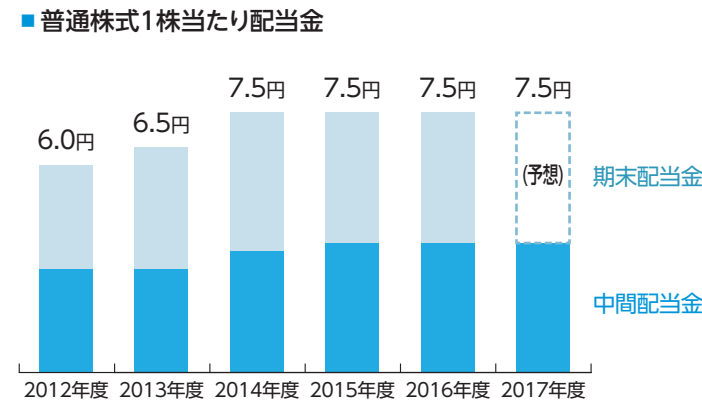


# 2017年度中間配当金のご報告

## 2017年度中間配当金 ▶ 3円75銭

2017年度中間	
普通株式1株当たり 中間配当金	3円75銭
中間配当金の総額	951億円
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,166億円



## 2017年度中間配当金の決定について

- 2017年度の普通株式の中間配当金につきましては、期初の配当予想どおり、1株当たり3円75銭とさせていただきます。
- また、2017年度の年間配当予想も、7円50銭と期初予想から変更ございません。
- 当社は、株主還元につきましては、連結配当性向30%程度を一つの目処とした上で安定的な配当を実施する方針としております。
- 同方針のもと、当社取締役会は、2017年度の親会社株主に帰属する当期純利益が、通期連結業績予想に対して順調な推移となっていること、将来の業績見通し、収益基盤、自己資本の状況およびバーゼル規制をはじめとした国内外の金融規制動向等、事業環境を総合的に勘案し、しっかりと検討を重ね、2017年度中間配当を決定いたしました。

## 資本政策の基本方針

「安定的な自己資本の充実」と「着実な株主還元」の最適なバランスを図る  
「規律ある資本政策」を遂行

### 安定的な 自己資本の 充実

普通株式等Tier1 (CET1) 比率<sup>\*1</sup>目標：10%程度 (2019年3月末時点)  
2017年9月末CET1比率<sup>\*1</sup>：9.56%

※1：バーゼルⅢ 完全施行ベース（現行規制を前提）、その他有価証券評価差額金を除く

経済環境の悪化時も、金融仲介機能を十分に発揮するため、  
外部環境へのストレス耐性を高める

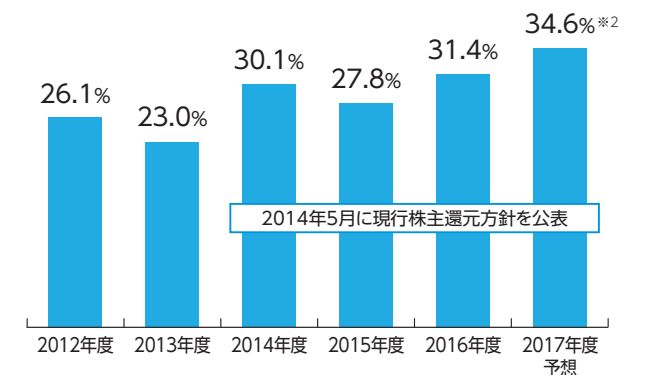
### 着実な 株主還元

連結配当性向30%程度を  
一つの目処とした上で  
安定的な配当を実施  
(2014年度以降)

更なる自己資本の充実を図り  
つつ、着実な株主還元を継続

2017年度年間配当金：  
7円50銭 (予想)

### ■ 連結配当性向推移



※2：2017年度親会社株主に帰属する当期純利益5,500億円を前提